

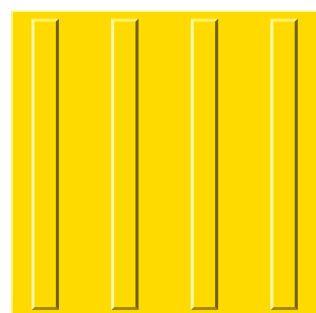
街の中のバリアフリー 知っていますか？

視覚障害者誘導用ブロック

点字ブロックは、正式名称を「視覚障害者誘導用ブロック」といい、視覚障がいのある人が安全で快適に移動するための道しるべです。点字ブロックには、線状ブロックと点状ブロックの2種類があります。原則として、JIS(日本産業規格)の定める形状とされており、色は弱視の人が見やすく、周りとの区別がしやすい黄色とされています。

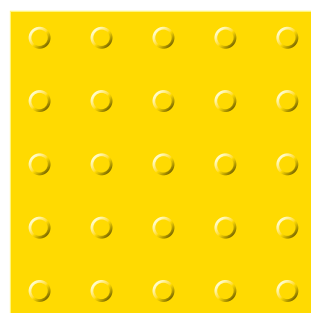
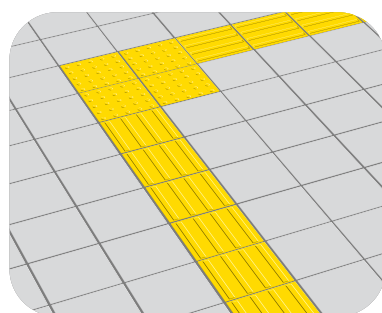
線状ブロック(誘導ブロック)

視覚障がいのある人を誘導するためのブロックで、ブロックの突起を足の裏や杖で確認しながら、突起の方向に歩くことができるように設置されています。



点状ブロック(警告ブロック)

視覚障がいのある人に注意を知らせるブロックで、横断歩道や階段、障害物の前や分岐点に設置されています。



点字ブロックの上に物や自転車などを置かないようにしましょう

点字ブロックの上やその周囲30cm以内に物が置かれていると、視覚障がいのある人がつまずいたりぶつかったりして、とても危険です。点字ブロックの上やその周囲には物を置かないでください。もし、ブロック上の障害物に戸惑っている視覚障がいのある人を見かけたら、声をかけて、安全な場所まで誘導してください。



多目的(多機能)トイレ

多目的(多機能)トイレとは、車いす使用者が利用できる広さや手すりなどに加えて、オストメイト対応の設備、おむつ替えシート、ベビーチェアなどを備えることで、車いす使用者だけでなく、高齢者、内部障がい者、子ども連れなどの多様な人が利用可能としたトイレのことです。なお、最近では、乳児用ベッドに替え、乳児から大人まで利用できる「ユニバーサルシート」を設置しているトイレも増えています。

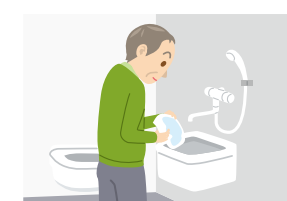
車いす使用者

- 回転できる広いスペースが必要
- 便器に移乗するために手すりを使用



オストメイト(人工肛門等保有者)

- パウチ(便をためておく袋)から排せつするために汚物流しを使用



ユニバーサルシート

- 乳児からお年寄りまで使用できる多目的シート

子ども連れ

- 子どもを座らせるためにベビーチェアを使用

多目的トイレが使えないと困る人がいます

車いす使用者は、広いスペースが必要なので多目的トイレを使用しています。また、筋力が弱っているなどの理由で我慢できない人もいますので、一般のトイレを利用できる人が、多目的トイレを利用することは控えましょう。

オストメイトマーク



人工肛門・人工膀胱を造設している人(オストメイト)のための設備があることを表しています。オストメイト対応のトイレの入口・案内誘導プレートに表示されています。公益社団法人 日本オストミー協会